## RC-U485 ドライバ・ソフト インストール方法 (Windows11 用)

ドライバソフトのインストールの前に、ドライバー署名の強制を無効に設定する必要があります。

1. <u>スタートメニュ</u>ーの[設定]をクリックします。

🔍 アプリ、設定	ミ、ドキュメントの	の検索				
ピン留め済み					すべて >	
CO Edge	Word	Excel	PowerPoint	Office	Outlook (new)	
Microsoft Store	<b>74</b> F	Dell Optimizer	SupportAssist	Dell Command   Update	の設定	
Xbox	Solitaire	Spotify	<b>N</b> hatsApp	<b>J</b> TikTok	ESPN	

2. [システム]をクリックします。



3. [回復]タブをクリックします。





## [今すぐ再起動する]をクリックします。

Ŗ	PC をリセットせずに問題を解決 初期状態に戻すのに時間がかかることがあります。まずトラブルシューティングツールを実行して問題を解決してみてください	>
c	Windows Update で問題を解決する このオプションは現在利用できません	今すぐ再インストール
回復オプシ	/ヨン	
ភ្	<b>この PC をリセット</b> 個人用ファイルの保持または削除を選んでから、Windows を再インストールします	PC をリセットする
4	PC の起動をカスタマイズする デバイスを再起動してディスクから起動、または USB ドライブから起動するなど、スタートアップ設定を変更する	今すぐ再起動

5. Windows が再起動し、以下の画面が表示されます。[トラブルシューティング]をクリックします。



6. [詳細オプション]をクリックします。



7. [スタートアップ設定]をクリックします。



8. [再起動]をクリックします。



9. Windows が再起動し、以下の画面が表示されます。ファンクションキーの **F7** キーを押し、ドライバー署名の強制を無効にします。

その後、Windows が再起動するので、管理者権限のあるアカウントでログインします。

才 1) 2 3 4 5 6 7 7 9	ブジョンを選択するには、番号を押してください: 時には、数字キーまたはファンクシンキーのF1からF9を使用します。 ) ブートログを有効にする ) ブートログを有効にする ) セーフモードを有効にする ) セーフモードを有効にする ) セーフモードとコマンドブロンプトを有効にする ) セーフモードとコマンドブロンプトを有効にする
11) 2 3 4 5 6 7 0	時には、数字キーまたはファンクションキーのFib5F9を使用します。 ) デバッグを有効にする ) ブートログを有効にする ) 低解像腹ビデオを有効にする ) セーフモードを有効にする ) セーフモードとネマットワークを有効にする ) セーフモードとコマンドプロンプトを有効にする ) セーフモードとコマンドプロンプトを有効にする
1] 2 4 5 6 7	) デバッグを有効にする ) ブートログを有効にする ) 低解像度ビデオを有効にする ) セーフモードを有効にする ) セーフモードとコマンドブロンプトを有効にする ) セーフモードとコマンドブロンプトを有効にする ) セーフモードとコマンドブロンプトを有効にする
2 3 4 5 6 7	) ブートログを有効にする ) 低解像度ビデオを有効にする ) セーフモードを有効にする ) セーフモードとネットワークを有効にする ) セーフモードとコマンドプロンプトを有効にする ) セーフモードとコマンドプロンプトを有効にする
3 4 5 6 7	)低解像度ビデオを有効にする ) セーフモードを有効にする ) セーフモードとネットワークを有効にする ) セーフモードとコマンドプロンプトを有効にする ) セーフモードとコマンドプロンプトを有効にする
4 5 6 7	) セーフモードを有効にする ) セーフモードとネットワークを有効にする ) セーフモードとコマンドプロンプトを有効にする ) セーフモードとコマンドプロンプトを有効にする
5 6 7	) セーフモードとネットワークを有効にする ) セーフモードとコマンドプロンプトを有効にする > ドニッビー型や collegite and the collegite
6	) セーフモードとコマンドプロンプトを有効にする
7	
0	)トライバー省石の短期を無対にする
	) 起動時マルウェア対策を無効にする
	) 障害発生後の自動再起動を無効にする
	の他のオプションを表示するには、F10キーを押してください
Ż	tペレーティングシステムに戻るには、Enterキーを押してください

- Windows が再起動したら、RSC-U485 を USB ポートに差し込み、以降の手順に従ってドライバーを インストールします。
- 11. Windows キーを右クリックします。



12. デバイスマネージャーをクリックします。



	<u> </u>	_	×
✓ ≟ HW007981			^
> 🔐 DVD/CD-ROM ドライブ			
> 💼 WSD 印刷プロバイダー			
> 🕠 オーディオの入力および出力			
> === キーボード			
> 💻 コンピューター			
> 🕠 サウンド、ビデオ、およびゲーム コントローラー			
> 🏣 システム デバイス			
> 📲 セキュリティデバイス			
> 📱 ソフトウェア デバイス			
> 🚘 ディスク ドライブ			
> 🔙 ディスプレイ アダプター			
> 🚽 ネットワーク アダプター			
> 🛼 ヒューマン インターフェイス デバイス			
> 🎽 ファームウェア			
> 💼 プリンター			
> 🔲 プロセッサ			
> 🌐 ポート (COM と LPT)			
🙀 USB <-> Serial Cable			
> 🕕 マウスとそのほかのポインティング デバイス			
> 🛄 メモリ テクノロジ デバイス			
> 🛄 Ŧニター			
> 🏺 ユニバーサル シリアル バス コントローラー			
> 💼 印刷キュー			
、 ② 記済は フントロ_==_			~

13. 『ほかのデバイス』にある『USB<->Serial Cable』を右クリックします。

14. 『ドライバーソフトウェアの更新(P)...』をクリックします。



15. 下の画面がでるので、下段の『コンピュータを参照してドライバーソフトウェアを検索します (R)』をクリックします。



16. ダウンロードしておいた、RSC-U485 のドライバーソフトウェアのフォルダーを選択します。 この時、『サブフォルダーも検索する(I)』のチェックボックスをチェック☑します。



17. 下記画面がでるので、『このドライバーソフトウェアをインストールします(I)』をクリックしま す。



18. ドライバーソフトウェアがインストールされ、下記画面になるので、『閉じる(C)』ボタンをクリックします。



19. Windows キーを右クリックし、デバイスマネージャーをクリックします。



20. 『ユニバーサルシリアル バス コントローラー』に『Futaba Corporation USB Serial Converter RSC-U485』が表示され、

『ほかのデバイス』に 『USB Serial Port』が表示されていることを確認します。



21. 前に行った手順と同様に『ドライバーソフトウェアの更新(P)...』をクリックする所と同様に下 記の操作を繰り返し、再度ドライバーインストールを行います。



22. 下の画面がでるので、下段の『コンピュータを参照してドライバーソフトウェアを検索します (R)』をクリックします。



23. ダウンロードしておいた、RSC-U485 のドライバーソフトウェアのフォルダーを選択します。 この時、『サブフォルダーも検索する(I)』のチェックボックスをチェック☑します。



24. 下記画面がでるので、『このドライバーソフトウェアをインストールします(I)』をクリックしま す。



25. ドライバーソフトウェアがインストールされ、下記画面になるので、『閉じる(C)』ボタンをクリックします。



26. Windows キーを右クリックし、デバイスマネージャーをクリックします。



27. 『ユニバーサルシリアル バス コントローラー』に『Futaba Corporation USB Serial Converter RSC-U485』が表示され、

『ポート(COM と LPT)』に 『Futaba Corporation USB Serial Converter RSC-U485(COM3)』が 表示されていることを確認します。

(COM3)の部分の数値は環境により変化します。数値がポート番号になります。



以上で、RSC-U485のドライバーインストールは完了です。